

標 題	スマート農業用機械「自動操舵搭載高速高精度汎用型播種機」で 水稲乾田直播を実施！
------------	---

(ダイジェスト)

島根県農業協同組合斐川地区本部を代表としたコンソーシアムが、農林水産省の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」に令和元年度から2年間、技術実証に取り組んでいます。この度、コンソーシアムメンバーの有限会社Gが、斐川町三分市の水田で、自動操舵機能搭載高速高精度汎用型播種機を用いて水稲乾田直播を行い、短時間で作業を行うことができました。

出雲市斐川町「水田フル活用体系確立実証コンソーシアム」メンバーの有限会社Gが、5月23日に、同町三分市の水田（乾田状態）において自動操舵機能を搭載した高速高精度汎用型播種機（写真1）を用いて水稲直播作業を行いました。播種速度は時速8km程度と田植機のスピードの約2倍の高速で走行でき、短時間で作業が可能となりました。なお、播種に先立ち5月13日に基肥散布と耕起、同22日に肥料混和、転圧および整地を行いました。

上記コンソーシアムは、島根県農業協同組合斐川地区本部、有限会社G、農事組合法人K、T株式会社、民間企業、出雲市および島根県で構成され、スマート農業技術を活用し「更なる水田フル活用による耕地利用率125%・後継者への技術継承」を目的として技術実証を行う組織です。同コンソーシアムでは、水稲、大麦およびハトムギの労働時間を削減し、新たにタマネギおよびキャベツ栽培を導入することにより、耕地利用率を高め所得の向上を目指します。水稲部門では、乾田直播による育苗作業、自動操舵による播種作業、水管理の自動化(写真2)による水管理労力、ドローン利用による防除作業等の労働時間削減を目指します。

普及部では、関係機関と連携し実証ほの生育調査や現地検討を通じ、水稲の生産コスト削減技術の確立に向け取り組んでいきます。



写真1 播種作業中の高速高精度汎用型播種機



写真2 自動給水装置

担当者	出雲地域振興第一課	高橋眞二	TEL0853-30-5603
-----	-----------	------	-----------------